

## 自己評価報告書

平成 23 年 5 月 1 日現在

機関番号：33912

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2012

課題番号：20530611

研究課題名(和文) 漢字学習行動, 漢字学習方略, 及び漢字知識の関係と, その発達の變化

研究課題名(英文) Relation of Kanji learning behavior, Kanji learning strategy and its developmental change

研究代表者 谷口 篤 (TANIGUCHI ATUSHI)

名古屋学院大学・スポーツ健康学部・教授

研究者番号：10167504

研究分野：心理学

科研費の分科・細目：教育心理学

キーワード：学習過程

## 1. 研究計画の概要

(1) 日本語を母語とする人間にとっても、母語としない人間にとっても、日本語の習得の基本的事項として漢字の習得の重要性が指摘できる。実際、小学生の学習困難さの一つに漢字の習得が挙げられるし、漢字学習は小学校から国語の時間で一定の割合を必ず割いてきた時間でもある。また、我々は大人になっても時に知らない漢字に出会い、その漢字を調べ、学習することがしばしばある。ところが、その漢字の学習方法となると、国語教育の関係者によるさまざまな主張があるが、その学習方法について科学的に検証されてはいない。

(2) 本研究では、第1の目的として漢字学習方略と漢字学習の関係について検討することを第1の目的とする。漢字学習とは、漢字の形態表象、漢字の構成素の意味表象、さらに構成素間の関係からの意味表象の形成により成立すると考えられる。つまり、漢字学習においては、先行研究の知見に示された漢字表象間の関係を理解することにより各漢字の意味表象を形成していく過程と捉えられる。そのような漢字意味表象の形成過程における学習方略の使用の差が漢字学習の個人差の要因と考えられる。そこで、本研究では、まずはじめに漢字学習態度や方略を分析し、漢字学習に関係すると考えられる学習方略や漢字学習時に働くメタ認知を明らかにする。そのためにこのような分析でこれまであまり使われてこなかったテキスト・マイニングの手法を用いる。さらにそこで得られた知見から、漢字学習と学習方略や漢字学習時のメタ認知機能の関係について明らかにする。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 第1の研究では日本人と、漢字文化圏以外からの日本語を学習している留

生の漢字学習態度について検討した。その結果、漢字表象の形成がある程度できている日本人大学生は、漢字学習において漢字構成素の意味から漢字の意味を推測する学習態度を採用しており、漢字表象の形成が充分ではない外国人留学生は、日本人学生より、漢字学習に様々な学習態度をとって、多くの努力をしていることが示された。また、漢字記憶方略においても、漢字知識表象の形成が不十分な外国人留学生の方が、日本人大学生よりも、様々な記憶方略を採用し、漢字表象の形成を試みていることが示された。さらに、(2)漢字の空書き練習と書字家庭のアニメーション提示の効果と、漢字学習態度の関連性について検討した。アニメーション条件では、意味推測の態度の因子が有意であり、静止画面条件では漢字知識と、精緻化学習態度が有意であり、字源提示条件では構成素意味記憶方略と漢字知識が有意であり、字源非提示条件では漢字知識が有意であり、空書条件では、構成素意味記憶方略、漢字知識、書字リハーサル態度、意味推測態度が有意であった。

(3) これまでの研究では不足していた、漢字記憶表象の中の筋運動記憶表象についても検討を行うための実験研究の準備として、漢字筆順をコンピュータに記録する手法を開発するための準備を行った。このために、持ち運び可能な小型コンピュータとボールペン書字を検知し、書字過程をリアルタイムに記録可能なハードウェアを用意し、漢字の筆順を記録するシステムと、その書字過程(筆順とそのスピード)を分析可能なソフ

トウェアの連携を取るための実験機器の整備、調整を行った。

### 3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

2010年8月に1ヶ月ほど入院し、実験の準備が遅れて、データが十分にとれず、データ分析が遅れていることが原因である。

### 4. 今後の研究の推進方策

(1) 漢字学習における書字練習の効果について、漢字の書字過程の分析を進める。

(2) 漢字学習に影響を及ぼす学習者の要因について、学習態度だけでなく、漢字知識の種類による影響を検討する。

(3) 学事学習における書字練習の効果の発達的な変化を検討する。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計3件)

- ① 谷口篤 2009 書字練習が漢字の記憶に及ぼす効果(7) —漢字学習態度、漢字学習方略と書字練習効果の関係— 日本教育心理学会 51 回総会
- ② Taniguchi Atsushi 2009 Attitude and strategy at the Chinese character learning : an international comparison. The 11th European Congress of Psychology in Oslo.
- ③ 谷口篤 2008 書字練習が漢字の記憶に及ぼす効果6 —漢字学習態度、漢字学習方略と漢字能力の関係— 日本教育心理学会 50 回総会